

マーケティングに役立つ「生活者発想」講座

～多様な「ものの見方」、「思考法」を養う～

担当講師	 <p>石寺 修三（株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所 所長）</p> <p>1989年に博報堂入社。マーケティングプランナーとして得意先企業の市場調査や商品開発、コミュニケーションに関わる業務に従事。以後、ブランディングや新領域を開拓する異職種混成部門や、専門職の人事・人材開発を担当する本社系部門を経て、2015年より現職。</p> <p>著書：『生活者の平成30年史 ～データで読む価値観の変化～』（共著・日本経済新聞出版・2019年）、『地ブランド ～日本を救う地域ブランド論～』（共著・弘文堂・2006年）</p> <p>法政大学非常勤講師、官公庁の各種委員会などでの講演多数</p>
実施日程	第1回：2024年2月15日（木）18:30-20:40 第2回：2024年2月29日（木）18:30-20:40
実施場所	弁理士会館（千代田区霞が関3-4-2） *本講座は現地集合研修での実施になります。
受講料	全2回：会員1,000円、非会員10,000円（税込・テキスト代込）
対象者	<ul style="list-style-type: none">●マーケティング、ブランディング、商品開発等の業務に携わっている又は携わりたい方●クライアントのマーケティング、ブランディング、商品開発等についてコンサルティングを行っている又は行いたい方●多様な「ものの見方」や「思考法」を養いたい方
概要 ねらい	<p>近年、企業の知財部員がマーケティング、ブランディング、商品開発等（以下、マーケティング等）の業務に携わったり、特許事務所の所員がクライアントのマーケティング等に関するコンサルティングを行ったりする機会が増えてきました。マーケティング等においては、商品やサービスを利用するユーザのことをよく知ることが大切です。</p> <p>「生活者発想」は、人間を“消費者”としてではなく、“生活者”として全方位的に捉え、深く洞察することで新しい価値を創造していこうという考え方であり、博報堂生活総合研究所（以下、生活総研）が40年以上に渡って研究を続けてきました。</p> <p>この講座では、生活総研の所長から直接「生活者発想」を学ぶことにより、従来の知財業務に加えてマーケティング等の業務に役立つ多様な「ものの見方」や「思考法」を養います。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none">●マーケティング等の業務に役立つ多様な「ものの見方」、「思考法」を養う。●生活者の過去、現在、未来の意識及び行動について理解を深める。

<p>形式及び内容 (予定)</p>	<p>【第1回】生活者30年変化 (Yesterday : 生活者の“これまで”を学ぶ) 生活総研が実施している長期時系列調査をもとに、“過去”から“現在”へと続く生活者の価値観の変化潮流を俯瞰します。1992年から続く大規模調査『生活定点』の約1,400項目のデータから、「衣」「食」「住」「働」…など様々なカテゴリーの変化を紹介します。</p> <p>【第2回】「生活者発想」塾 (Today : 生活者の“いま”を学ぶ) 生活者の“現在”を深く多面的に理解するために必要な生活総研独自の発見と洞察の手法を学びます。講義と演習、参加者同士の対話を通して、新しい「ものの見方」の獲得と、イノベーションにつながる思考法を紹介します。また、デジタル空間上のビッグデータをエスノグラフィ（行動観察）の視点で分析するデジノグラフィを紹介します。</p>
<p>注意事項</p>	<p>本講座は、日本弁理士会の「継続研修」の単位認定対象講座ではございません。</p>